

桜のつぼみも膨らみ始め、春らしさを感じるようになったこの良き日に、高松中学校を旅立っていかれる三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお慶び申し上げます。先輩方は、新型コロナウイルスの世界的流行により、制限の多い三年間の中学校生活を送ってこられました。だからこそ、この卒業式に全校生徒で出席できることを、心から嬉しく思います。

今、皆さんの胸の中には、長いようであつたという間であつた三年間の学校生活の思い出が蘇っていることと思います。当たり前だと思っていた日々の中に、大切な出会い、あるいは別れがあり、それらが、たくさんのかけがえない思い出となつて、今、溢れているのではないのでしょうか。

今まで、一緒に楽しい時を過ごさせていただいた先輩たちがもういなくなってしまうのかと思うと、やはり寂しいです。それほど先輩方は私たちにとって大きな存在であり、皆さんと過ごした時間はとても貴重で、何物にも代えがたい大切な宝物です。

先輩方は、私たちに「優しさ」や「絆」をいつも身をもって教えてくださいました。私たちが先輩方と一番近くで関わる事ができた部活動では、先輩としての責任感をもち、はじめの挨拶から終わりの片付けまで、真摯に取り組む姿を見せてくださいました。また、右も左もわからない私たちに、部活動に臨む姿勢から技術面まで全て、時に優しく時に厳しく、一生懸命、丁寧に教えてくださったことにとても感謝しています。本当にありがとうございます。

そして、休み時間の校庭には、いつもどの学年よりも多く先輩方の姿がありました。そんな先輩方からはいつも楽しそうな会話や笑い声が溢れていました。先輩方の姿を見ていると、私たちが嬉しい気持ちになり、強い絆を感じさせてくださいました。先輩方の会話からは、いつも相手のことを一番に考え、大切にされていることが、とても伝わってきました。

二大行事でも、私たちに仲間との絆の大切さを教えてくださいました。体育大会では、三年間規模を縮小しての開催にはなつてしまいましたが、それ以上に、どの年にも負けない楽しい体育大会へと私たちを引っ張ってくださいました。そして、合唱コンクールでは、体育館中に響いた先輩方の美しいハーモニー、生き生きとした表情、全てに心が震えたことは、色鮮やかなまま、この胸に刻まれています。

先輩方の姿は、私たち後輩にとつていつも憧れの存在です。

日々の生活の中でも、私たち後輩の姿を認めると、手を振ってくださいだったり、話しかけてくださったり。そんな何気ない瞬間が、私たちにとつてかけがえのない宝物になりました。私も先輩方のように、仲間と互いを高め合つて、誰かのために、前へ前へ突き進んでいこう、そう思わせてくださいました。

これまで、先輩方がこの高松中学校を支えてこられた姿を、私たちはずっと見てきました。先輩方が受け継がれてきた伝統を、今はまだ至らないながらも、次は私たちがしっかりと受け継ぎ、より良い高松中学校を作り上げていきます。

本日、卒業の日を迎えられる先輩方は、夢と希望を抱いて新しい世界に羽ばたこうとしています。新しい環境に不安になったり、様々な困難や壁にぶつかつたりすることもあると思います。しかし、みなさんがこの三年間過ごしてきた日々の中で培った力で必ず乗り越えていけると、私たちは信じています。どうか、それぞれの場所で、自分の可能性を信じ、歩み続けていってください。先輩方と過ごせたこの二年間、本当に本当に幸せでした。

最後になりますが、夢に向かって羽ばたいていかれる先輩方の輝かしい未来を、在校生一同、心よりお祈り申し上げます、送辞とさせていただきます。